

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	一般建物火災における残火処理中のヒヤリハット。
3. 体験した事例の中心的要素	残火処理中において、屋根材の落下。
4. 体験した事例の原因・理由	現地指揮本部の状況判断不足。及び、屋内進入隊員の崩落危険の状況判断不足。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。 状況判断に問題があった。
------------------	---

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年8月23日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内：建物1階の玄関及び室内。
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、崩壊・倒壊（に巻き込まれる）、火傷・熱傷
7. 事例体験時の活動	火災現場活動中期、〔木造建物〕
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	残火整理
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[15] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[37]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[15] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	○当事者D 年齢:22歳、勤続:3年、現場経験:3年、階級:消防士、同様の活動:初めて、任務:隊員

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	現地指揮本部が	当事者ABCDに屋内進入の指示を出す。	
経過2	当事者Aが	屋内侵入後、残火処理の指示をBとDに出す。	
経過3	当事者BとDが	上部を確認しながら、残火処理を行う。	
経過4	当事者Cが	玄関付近で、ホースを送る	
経過5	瓦が	当事者Cの後方に落下する。	
経過6	建物の柱と梁が	当事者ABDの上部より落下する。	
経過7	全当事者が	当事者Aの指示の元、屋内から退出する。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。避難退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

崩落危険が潜んでいるとの、認識が少なからず甘かった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

